

目次

はじめに

- 第一章 Control (Mental Control と Time Control)**
緊張を受け入れ、自分の持ち時間を管理する方法を学びます
- 第二章 日本語で英語力を伸ばす法則 — 類推脳を鍛える**
分からない単語の意味を導き出す法則を学びます
- 第三章 英字新聞読解法と英文エッセイの書き方**
英字新聞を読む際のポイントと主に英文エッセイを書く上での手順、
焦らない取り組み方、ポイントアップテクニックを学びます
- 第四章 英文エントリーシートとカバーレターの書き方**
エントリーシートとカバーレターの基本ルールについて学びます
- 第五章 Story 力 UP**
質問に対し、回答を導き出す際の瞬発力と回答構築力を学びます
- 第六章 面接想定問題**
実際の面接を想定した問題で実践的な練習を行います
- 第七章 Appearance(笑顔・身だしなみ)と敬語**
世界共通の武器、魅力的な笑顔の作り方と日本語特有の敬語の
正しい使い方を学びます
- 第八章 日本文化・習慣・歴史の理解と説明**
外国人から不意に聞かれる、知っていて欲しい日本の文化・風習
について学びます

あとがき

はじめに

私たちは、幼い頃より、中学受験・高校受験・大学受験とふるいに掛けられることが中心の教育を受けてきました。そこは、誰の目にも明らかに客観的な偏差値や点数が存在している世界。点数が足りなければ、「覚える」、「書き写す」、ことを繰り返すことが、合格への近道だったはずです。もちろんそこにはノウハウや学校ごとに受験問題の傾向があり、時にはやま感もあったりはしますが、その大前提には、基本的に決まった科目における点数の優劣、絶対評価がありました。

ところが、これから皆さまが挑戦しようとしている客室乗務員採用試験は、今までの受験とは違い、自分の総合力こそが、可否の判断基準となってくるのです。

下の表は、今までの皆さまが受けてこられた受験と客室乗務員採用試験を比較させたものです。その違いを見てみましょう。

	採用人数	採用タイミング	出題傾向	受験者数	合格者数
大学受験	定員制	定期(基本年1回)	有	倍率表示あり	点数上位者の定員まで
CA採用試験	不確定	不定期・複数あり	やや有	不確定	航空会社基準に満たすもの

あることに気づきませんか？

そうです。学校受験は、出題傾向を把握し、コツコツと勉強を続け、覚え、正確にアウトプットすることを目指すもの。努力の結果、定員枠までの上位成績を上げることができれば、受験に合格するという、至ってシンプルなものと言えるのではないのでしょうか。誤解をしないで頂きたいのは、学校受験がやさしいと言いたいのではなく、可否を自分が客観的に把握することができる至ってシンプルなものである、ということです。

一方、客室乗務員採用試験はというと、採用人数・タイミング・合格するための絶対的客観的基準がないものです。

仮に、客室乗務員採用試験に挑戦し、残念ながら不合格、という結果になったとします。本人はもちろん一生懸命誠実に採用試験に臨みましたが、面接本番で目の前が真っ白になり、言葉が出てこなかった、外国人の採用担当者の質問自体が理解できず、自分でも何を回答したかを覚えていない、などという状態であれば、不合格の理由も自己分析できるでしょう。自分で欠けている点を強化することで、次へのチャレンジに気持ちを切り替えられると思います。

ところが、自分では、筆記試験も面接も、かなり手ごたえを感じたのに、残念ながら、結果が不合格だった場合はどうでしょう。

え？　なんで？　何が悪かったのだろう？　という解のない『？』が頭の中を駆け巡り、焦燥感にさいなまれることになるでしょう。試験結果に対するレビューを採用担当者に尋ねることはできないし、どこが悪かったのか、が実に分かりにくい試験なのです。

一発ストレートで合格するにこしたことはありませんが、手ごたえが十分だったのに受からなかった……もうその時は、その採用試験とは『縁がなかった』と割り切るよう頭の回路を切り替えて次のチャンスを狙うのです。

一方で、同じ航空会社の別のタイミングの採用試験に合格することもあれば、複数の航空会社の採用試験に同時に合格し、その中から、自分が一番入社したい航空会社に就職し、世界各国を飛び回っている客室乗務員もいるのです。

『しっかりした準備』と『いつも少しの開き直し』をもって、内定を目指しましょう。

客室乗務員になると心に決めたものの、実際に何から手をつけたら良いのでしょうか？　とりあえず近くの客室乗務員養成専門学校に通って、素敵な講師と出会い、共に合格を目指すという方法。少々お金がかかっても、身近に相談相手・共に客室乗務員になりたいと願う仲間がいる環境は心強いもの。この方法は最適かもしれませんが、実際に身近に客室乗務員養成学校がない場合はどうしたらよいのでしょうか？

東京、大阪、名古屋、福岡などの大都市では、様々な養成学校を見つけることができます。ただ、どこの学校も日本全国を網羅できている状態ではありません。客室乗務員になる夢を持った皆さまは、日本全国にいるというのに。

そこで、EOK エアラインスクールでは、『**実践的であること**』にこだわった、「外資系へのパスポート」、客室乗務員受験コースを設定しました。実際に EOK で行われている授業内容を自宅で再現できるよう、できるだけ多くの皆さまを対象に、可能な限りサポートさせて頂きたいと思っています。

受かる人受からない人

学校受験と異なり、客観的な数字での合格基準のない試験が、客室乗務員採用試験であることは先にも触れました。外資系航空会社は多数あり、採用タイミングもまちまちです。つまり、採用される機会は決して少ないわけではないのです。

現に、これらの多くの機会を利用して、一人で何社もの航空会社から内定をもらい、その中から自分で選んだ航空会社に就職し、輝いている客室乗務員はたくさんいます。

なぜ彼女・彼たちは採用されたのでしょうか？

何度も繰り返しますが、合格基準に絶対的で客観的な物差しはございません。EOK では、外資系航空会社に合格した 100 名に『合格できた自分なりのポイント』という題でヒヤリングを行い、その傾向を分析し、テキスト作成に反映させました。

もっと多くの方々に同じ質問をすれば、より多様な回答が得られるかもしれませんが、この 100 名のヒヤリングサンプルからでも十分合格者の自己分析の傾向値が見えてきます。

結果は下のとおりです（同種の回答はまとめて表現しております）。これらが全てではないですが、ある傾向値が見えてきませんか？コメントが何かに偏っていないでしょうか？

CAの自己分析コメント		キーワード	
集団面接の際、イニシアティブをとることができた	2	集団面接	積極性
気楽に自分の長所が説明でき、雰囲気も醸し出せた	1	平常心	自分の長所
自分の主張を堂々と言えた	15	自分の主張	自信
みんなの意見をまとめて発表することができた	5	みんなの意見	まとめる
面接官の話を落ち着いて聞くことができた	10	平常心	理解力
大きな声でハキハキと話すことを意識していた	4	はきはぎした声	明瞭性
焦らず論理的に受け答えできた	23	平常心	論理性
面接に落ち着いて臨むことができた	62	面接	平常心
英語には自信があった	6	英語	自信
計（重複回答あり、合計100を超える）	128		

そうです！ 自己分析の回答には、『面接』の出来に関する意見が圧倒的に多く寄せられたのです。「素敵な笑顔ができたから」「上品な立居振舞ができたから」などのコメントもあってもよさそうなものですが。これは、上品な立居振る舞いや笑顔が必要ではない、ということではなく、これらはもはや最低限の条件とみなされている、と考えるべきではないでしょうか。

上のアンケート結果をもとに、客室乗務員採用試験で何にプライオリティーをおいて取り組むべきか、まとめてみましょう。

キーワードから読みとれる重要ポイント
① 平常心を保つ、自信を持つ
② 限られた与えられた時間内での対応能力を身につける
③ 問われた質問⇒瞬間的に質問に対する『自分の解』⇒解に対するストーリー付け
④ 論理的且つ簡潔な受け答え
⑤ 明瞭で通る声で

つまり、どのような心構えで採用面接に臨むかというと、

『緊張を受け入れ平常心で面接に臨み、聞かれた質問には、決められた時間内に、はっきりと分かりやすく、且つ論理的に答える。』このテキストを通じ、自分なりの理想形をイメージして本番を迎えて頂ければと思います。

テキストの使い方

先ずは、エントリーシート、続いて立居振舞・身だしなみ、というような採用試験を時系列にとらえていくのではなく、EOK では重要な要素の中でも、その習得に時間を要するもの、どの状況でも必要なスキル、を冒頭に持って勉強していただきます。先の「受かる人受からない人」でまとめた面接の際の重要ポイントなどが、第一章から勉強できるような配列にしております。

次の章に進む前に、必ず前に習得した章のポイントを再認識し、新しい章に進んでいくってください。

また、テキストを開くと、右側のページがブランクになっているページがありますが、これは、重要事項や自分なりのポイント、気付きをその場で書き留めるために使ってください。 別にノートを用意するようなことは必要ありません。常にこの1冊を持ち歩き、復習や反復練習ができる自分だけの「合格ガイド」としてお使いください。

また、客室乗務員採用試験はみなさんの総合力が試される場です。このテキストで勉強することに加え、どんな新聞でも良いですから、是非毎日朝刊に目を通してください。金銭的に余裕がないというのであれば、インターネットニュースでも良いので、時事に明るくなってください。

EOK ホームページの『中東ニュース』もご参照ください。中東の最新情報を要約して紹介しています。時事に関して専門的になってくださいと言っているわけではなく、あくまで、時代の流れ、世界で起きていることを全体的に把握し、その中で日本の置かれている状況や対応の仕方、それに対しての自分の考えを明確にさせていただくことも訓練で上達できるのです。

時事に明るくなることは、短期的に時事問題対策にもつながるだけでなく、実際にみなさまが世界を舞台に飛び回る際、これらの習慣と知識が本当に役に立つと実感することになるでしょう。

また、月に1部でもよいので、英字新聞を音読してください。 英文朗読と内容サマリー対策に効果的ですし、読んでいくうちに英字新聞への抵抗感がなくなってくることでしょう。

よく分からない単語があるのは当たり前です。プロの通訳者や翻訳家でも、様々な辞書を使い分け、電子辞書を肌身離さず持ち歩き、分からない単語を次から次へと調べていかれるようです。英字新聞を読み続けることで、単語を拾い上げる能力と日本語新聞から関連性を類推する能力の向上につながります。

これらの積み重ねが、着実にあなたの地力を上げていきます。

それでは始めましょう。テキストの第一章を開いてください。